

近鉄 その11 踏切

近鉄には、その生い立ちから多くの会社を買収合併してきたために、幹線の名古屋線を拡幅するだけでも多大な労力を費やしたように、まだすべての軌道幅を統一できていないのも現実です。また、大きな幹線である南大阪線は1067mmで残ったままです。南大阪線は、JRとか南海電鉄とかの関係があり、たぶん将来とも現状のままに残るかもしれません。

そこで、へそ曲がり精神で、そのような各種の軌道幅の路線が集まるところはないか？と探してみましたら、三重県桑名の近鉄とJRと（近鉄の関連企業）三岐鉄道とがそれぞれ異なるレール幅で並んで走っているところがありました。

この踏切は、鉄チャンにとっては、3つの軌道幅を一度に見ることができるだけでなく、桑名駅の東側にある三岐鉄道の駅名は『西桑名』であったり。写真に見える歩行者専用の踏切は、左の近鉄は『益生第4踏切』で、中央のJRは『駅構内踏切』で、三岐鉄道は『西桑名第2踏切』と同じ踏切で呼び名が違っているなど話題の多い場所です。なお、この踏切は、地元では通称『三崎踏切』と呼ばれています。



近鉄1435mm JR関西線1067mm 三岐鉄道762mm
(左側 複線部分) (中央 複線部分) (右側 単線部分)

桑名駅の南にある踏切です。
(チョット カメラの位置が良くないです、不悪)